

事例

外食・中食におけるヘルシーメニューの認証「ふくい健幸美食」プロジェクト

福井県

平成23（2011）年度の調査で、福井県は全国に比べて塩分摂取量が多く、男性の肥満者やメタボリックシンドロームが強く疑われる者の割合が増加していることが分かりました。

そこで、平成24（2012）年度から、飲食店や社員食堂の「定食（弁当）」と、全国で最も利用の多い「惣菜」を対象に、県独自の基準を満たしたヘルシーメニューを募集し、「ふくい健幸美食」として認証する事業を始め、県民の健康づくりを進めています。

製造・販売者に対し、福井県栄養士会や県健康福祉センターの管理栄養士がレシピの改良をサポートしました。例えば、単品で販売される惣菜では、調理後の塩味が強すぎない煮物（塩分濃度1.0%以下）や、衣が薄い揚げ物（衣重量が全体の40%以下）を認証しました。認証した定食や惣菜は「ふくい味の週間」（毎年11月中の一週間）を中心に販売し、PRしています。

今後は、引き続き「ふくい健幸美食」の認証・提供を拡大し、働く世代の健康を支援していきます。

○福井県HP

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/fukui-kenkousyoku/kenkoubisyoku.html>

○メニューガイド



「ふくい健幸美食」は福井県の登録商標です。
(登録番号5621200号)